

## 昨年度下半期の活動報告と今年度活動計画（概要）

山形県作業療法士会における昨年度下半期での活動では、認知症に関する研修事業として、2019年12月に日本作業療法士協会より発行された「認知症作業療法評価の手引き」の普及啓発と実践的な活用方法を学ぶための研修を企画した。

認知症基礎研修事業では、手引きの概要と2013年度から取り組んでいる認知症出前講座の新しいスライド、一般向けの認知症作業療法パンフレットの紹介を行った。また、コロナ禍における認知症支援についてグループワークが行われた（2020年10月4日Web開催にて参加者13名）。

認知症基礎研修事業の上位研修である認知症対応力向上研修事業では、手引きの実践的な活用方法について、手引きを執筆された認知症の人の生活支援推進委員会の村島久美子氏よりご講義いただいた（2021年1月30日Web開催にて参加者23名）。

今年度の活動は、地域における認知症の人とその家族に対する支援や認知症予防等、認知症に関する地域のニーズに応えること、OTの認知症に関する知識と対応力の向上を目的とした人材育成と啓発を目指すことを基本方針として事業を継続して行く。

認知症に関する研修や認知症フォーラム等の事業については、コロナ禍において、感染状況を考慮し、Web開催または感染対策を講じながら対面での開催を検討している。

## 今年度の認知症に関する研修会

認知症基礎研修会は第1回を8月5日にオンラインで開催した（参加者15名）。内容は、1月31日に開催された日本作業療法協会「士会における認知症への取り組みを推進する担当者同士の情報交換会」の報告や「認知症の人と家族のためにできること」をテーマとしたディスカッションである。第2回は例年開催している認知症UD研修会をオンラインで開催予定である。

認知症対応力向上研修会では、コロナ禍における作業療法士の認知症の方への取り組みの報告と情報交換会を企画（2021年11月Web開催予定）している。コロナ禍で認知症の人への支援の在り方も変化を余儀なくされている中、各事業所の作業療法士が葛藤や不安を持ちながらも、より良い支援を目指して行ってきた取り組みを共有し、今後の在り方を模索していく。



一般向け認知症作業療法パンフレット

## 認知症出前講座、認知症フォーラム、若年性認知症支援、認知症初期集中支援チーム普及啓発

認知症出前講座、認知症フォーラムは感染対策を講じながら、対面開催またはリモートでの開催に向けた準備を継続している。

若年性認知症支援では、認知症の人と家族の会山形県支部による若年性認知症のつどい「なのはな」への支援を継続している。

対面での参加が困難な状況が続いており、リモートでの参加を検討中である。

## 今後の展開

- ・ 認知症の人と家族の会への協力、協働関係の発展
- ・ 県内4支部における、さらなる認知症作業療法の推進
- ・ 地域の行政機関、組織との結びつきを強め、認知症関連の依頼への対応を迅速化